

教えて!

三井不動産レジデンシャル_02

部屋を「つなぐ」と、 どんな住空間が 実現するのですか？

三井不動産レジデンシャルが、サローネで
住空間のコンセプトモデル「つなぐ」を展示。
この秋には商品化も決定です！

photo_ikunori Yamamoto (Nacasa & Partners)
text_Akio Mitomi

■ 本初の高層マンションとして、1971年に竣工した（三田綱町パーク・マンション）をはじめ、常に新しい住空間を提案してきた三井不動産レジデンシャル。デザイン、セキュリティ、エコロジー、グリーンという4テーマをかかげ、現在まで（パークホームズ）シリーズのマンションを中心に、数々の建築家やデザイナーとのコラボレーションを実現してきたことをご存じだろうか。

その4テーマ中、「デザイン」に関して表現したのが、今年のミラノサローネで発表したコンセプトモデル「つなぐ」。建築家の隈研吾氏を起用、グラフィックデザイナーの原研哉氏やイタリア建築家ユニット、カルビ&ブランビツラともコラボレーションしたプロジェクトです。

「サローネに展示した目的は、住まいのグローバルスタンダードを提案しなかったから」と語るのは、展示をプロデュースした三井不動産レジデンシャルの山田貴夫氏。空間や時間、さらに和と洋を「つなぐ」ことによって、より豊かな住空間を生み出したと考えた。

では実際の展示はどのようなものだったか、ご観覧あれ！



隈 研吾

建築家。1954年生まれ。79年東京大学建築学
科大学院修了。コロンビア大学客員研究員を
経て、90年隈研吾建築都市設計事務所を設立。
2001年より慶應義塾大学理工学部教授。近作
に〈サントリー美術館〉などがある。



原 研哉

グラフィックデザイナー。1956年生まれ。武
蔵野美術大学教授。日本デザインセンター代
表。商品デザインから広告、展覧も手がけた
「リ・デザイン展」の企画などで幅広く活躍。
近著「Designing Design」を同時出版。



Calvi Brambilla Architetti

1969年生まれのファビオ・カルビ（左）と73
年生まれのパオロ・ブランビッラ（右）の建
築家ユニット。2005年より活動。隈氏とは06
年上海の〈Z58〉でも協働。インテリアやプ
ロダクト、グラフィックデザインでも活躍。

右ページ/トリエンナーレの一室
に、日本旅館かと見紛う光景が展
示。このディテール「SUMUSHI
KO」の秘密は次ページで！